

市民と議会との 意見交換会を開催しました

江南市議会では、市民の皆さんから直接ご意見やご提案をいただき、議会として積極的な政策提言を行うため「市民と議会との意見交換会」を、7月26日(日)午前10時から、江南市民文化会館で開催しました。

当日は、105人の市民の皆さんにご参加をいただき、活発な意見交換が行われ、多くの要望がありました。

全体会

全体会では、議長より、開催に至った経緯や趣旨について説明しました。



分科会

全体会終了後、常任委員会ごとに分かれて、議会からの報告を行った後、それぞれのテーマについて、市民と市議会議員が意見交換をしました。

担当委員会	意見交換会のテーマ	参加延べ人数
総務委員会	「わが街の安心・安全について」 ～防犯、防災、交通安全対策など～	38人
建設産業委員会	・公共交通のあり方について ・江南市のまちづくりについて	42人
厚生文教委員会	・介護予防についてと子育て支援について (放課後の子どもの居場所・子ども医療費助成) ・図書館について	33人

質疑応答の内容は次のとおりです。

総務委員会

テーマ「わが街の安心・安全について」

～防犯、防災、交通安全対策など～

交通事故による死者数は、全国的に年々減少傾向にあります。都道府県別の死者数は、依然として愛知県がワースト1位が続いており、多くの尊い命が犠牲となっています。一つでも多くの犠牲をなくし、犠牲者を出さないようにするには、交通ルールに対する一人ひとりの心がけと、安全な交通環境の整備に努めなければなりません。

平成27年6月1日に施行された道路交差点の改正では、「自転車の運転による交通の危険を防止するための講習に関する規定の整備等」が行われ、一定の危険な違反行為をして2回以上摘発された自転車運転者(悪質自転車運転者)に、講習が義務化されるなど、安全な交通環境を確保するためのルールが整備されました。

主な危険な違反行為

- ・ 信号無視
- ・ 通行禁止違反
- ・ 歩行者専用道での徐行違反等
- ・ 通行区分違反
- ・ 路側帯の歩行者妨害
- ・ 遮断機が下りた踏み切りへの進入
- ・ 交差点での優先道路通行車妨害等
- ・ 交差点での右折車妨害等
- ・ 環状交差点での安全進行義務違反等
- ・ 一時停止違反

- ・ 歩道での歩行者妨害
- ・ ブレーキのない自転車運転
- ・ 酒酔い運転
- ・ 安全運転義務違反

このような観点から、江南市の交通事故状況等を一覧表で確認しながら、改正道路交差点法の紹介を行うとともに、市民の皆さんにも関心の高い、防犯対策、防災対策、消防関係の資料を紹介した後、活発な質疑がされました。

▼防犯について

問 地域の安全パトロール隊員が固定・高齢化しており、存続が危ぶまれている。後継者養成の観点からも、永年の労苦に報いるため、市長からの感謝状贈呈を考えてはどうか。

答 ご苦労されていることは承知しておりますので、意見を市長へ報告するとともに、市の表彰規程を調査し、意に沿うよう検討していきたいと思っております。

要望 防犯灯の維持管理を市にお願いしたい。

▼防災について

問 防災行政無線が聞き取りにくいので、以前2000円で配付されていた防災行政無線が受信できる防災ラジオを、市内の全世帯に無料で支給できないか、特に収入が少ない高齢者だけでも配慮できないか。

答 電波の受信環境が悪く、内容が聞き取りにくい地域もあると聞いておりますが、財政上の理由から全世帯への防災ラジオの無料支給は考えていません。耳が不自由などの災害弱者の方に対し、今後において、どのように対応したらよいか、一定の方針を考えていきます。

▼交通安全対策について
要望 自転車の交通ルール改正に伴って、小・中・高校生に学年を限定せず、自転車運転指導の徹底を図っていただきたい。

要望 交通安全のため、雑草などで視界がさえぎられる交差点の除草指導をお願いしたい。
▼消防について

問 住宅用火災警報器の設置率について、当市は62・0%で、全国(79・6%)、愛知県(77・8%)と比較して低いが、義務化の周知徹底が図れていないのではないかと。

答 新築住宅への設置は、すでに義務化されており、既存の住宅への義務化の周知は、耐震診断の機会に指導を行うなど、様々な機会をとらえて、市が啓発活動を行っています。また、各地区の自主防災訓練においても、防災リーダー会によるPRが行われています。しかしながら、当市は設置率がかなり低いので、引き続き各地区においてPRが行われるよう取り組んでまいります。
問 女性消防団員について教えてください。

答 消防団員の定数は200名で、男性183名、女性17名です。現在、女性団員は16名で活動しており、1名を募集しています。なお、女性団員は消火活動を行わず、消防団本部付で、消防団の広報や各地区において応急手当指導等の活動を行っています。

▼平成27年度の重点事業について
要望 新体育館建設における設計費の透明性をお願いしたい。

要望 市が高額な費用を負担する布袋駅付近の鉄道高架化に伴う周辺整備に対して、国道155号の渋滞緩和は分かるが、駅周辺地域の街づくりをどのように進めていくか、市として一定のビジョンを示していただきたい。

▼地域協働について
要望 昨今において、地区役員の引き受け手がいないなど、お互いに助け合っている、いわゆる地域の絆が薄れてきているので、市として地域力を向上させるような組織づくりを行い、住みやすい街づくりを目指していただきたい。

▼その他
要望 意見交換会で出された意見・要望を集約するとともに、その後の結果を周知していただきたい。



建設産業委員会

テーマ 公共交通のあり方について・江南市のまちづくりについて

公共交通といえは、市内を走るバス等様々な交通手段があり、江南市ではこまかいCAR（予約便）及び福祉タクシー（高齢者タクシー・障害者タクシー）等があります。いこまかいCARの利用者は

毎年増加し、市の負担額は平成25年度決算では約4140万円でした。平成26年度決算では、いこまかいCARは利用料金の見直し等により、約3209万円。そして、名鉄バス補助路線に約2717万円、江南駅、布袋駅に乗り入れる途中に江南市民も利用できるよう停留所を設置している、大口町コミュニティバスの利用負担金が48万円で、福祉タクシーも含めた平成26年度の公共交通に係る総経費は合計で約7782万円となっています。まちづくり事業の一環としての下水道整備は、平成26年度までに414・9ヘクタール整備され、水洗化率は71・4%となっています。

また、都市公園の整備状況に関して、全国平均面積（㎡/人）10㎡、県内都市公園の一人当たりの面積7・6㎡、江南市の都市公園の一人当たりの面積約3・8㎡となっており、小公園等を含めても一人当たりの面積約4・4㎡で少なく、私たち議員は、街の中にも計画的に公園をつくり子供達や保護者が日常利用できる公園の設置をしなければならない

と思っています。

公共交通のあり方と江南市のまちづくりについて皆さんの意見を伺い今後の行政に対する議会活動に生かしていきたい。

▼路線バスと自転車道の整備について
問 時間当たりのバスの便数を、小さなバスでもいいため増便はできないか。
また、6月から自転車に対する道路交通法が改正され自転車は車道走行が原則となり、自転車が行き止まりの整備を早急にしてもらいたい。

答 増便をした場合一定の基準を超え、赤字になると江南市が補助金を出すシステムになっており、財政の兼ね合いをみて対応を考えていきます。自転車道の整備についても江南市全体を考えた対応していかねばならないと考えています。

▼般若川付近でのユスリカ被害等と浸水対策について

問 古知野地区を流れる般若川付近でヤモリ・ユスリカ・イタチ等の被害が起きないように対策を考えてほしい。また、般若川の浸水対策はどのようにしているか。要望として、市道の浸透性アスファルト・浸透ますの設置の促進・宮町地区の般若川南側側道のかさ上げをお願いしたい。

また、市長との意見交換会のような機会を設けてほしい。

答 ユスリ力等の対策に對しても、毎年のように行政に要望していません。又、般若川の浸水対策として青木川放水路・雨水浸透ます等の整備対策を行なっていますが、浸水がなくなるのが現状ですので、皆さんご意見をいただきしつかりと対応していきます。市民との対話をもつため、今年度から市ではタウンミーティングも開催していきますので、市民皆様のたくさんのご意見をいただき行政に要望していきます。

▼公園の整備について
問 曼陀羅寺公園のトイレは改修されたが、木質の交通児童遊園のトイレは築40年以上たっていて、古くて汚いので子供が入りたくないと言っているの、改修をお願いしたい。
答 現場を見て、要望していきます。

要望 江南市の公園の現状は全国・県と比較すると非常に少ないが、今後の公園整備については当然地域の人々が集まりやすい公園、そして休憩もできる場所も設置して、住民に親しまれる公園整備をお願いしたい。
▼依存財源とまちづくりについて
問 江南市は依存財源が多すぎるが他に財源確保の方法があるのではないか。
 また、まちづくりについても、布袋駅付近の高架化事業・新体育館の建設等の事業は一部の市民が恩恵を受けるだけではないか。江南市全体を4区画に分けて地域企画で進められてはどうか。

答 江南市は法人市民税が約6億円、市街化率が24%などの状況で、すぐには自主財源を増やすことは困難です。市民のみならずが利用される布袋駅周辺の整備、そして江南駅周辺の整備。他地区に關してもバランスを考えながら整備をしていきますのでご理解をお願いいたします。

要望 江南市は名古屋市のベッドタウンと言われてるので市街化の拡大を計画的に進めていただきたい。また、市職員の対応が以前より良くなった。
▼江南駅・布袋駅の整備について
問 市は今後何をしなければならぬかよく考えてコンパクトシティを目指し、名古屋鉄道犬山線の江南駅・布袋駅を中心に整備を進め、また、西への一方通行になっている古知野中心街の本町通線の拡幅等、ポイントを絞り整備計画を進めた方がよいのではないか。

答 本町通線に關しても以前から拡幅の計画案はありますが、話が前に進まず停滞したままでしたが、6年程前に本町通線の測量をしていただき、その後も私も議員も努力はしていますが、進展はしていないのが現状です。今後も地元の皆様を伺って皆様と一体になつて江南駅周辺整備・本町通線の拡幅等に努力をしていきますので地元の皆様のご協力をお願いします。
▼新体育館の建設について
問 新体育館建設実施設計の予算が出ているが、経緯と建設予算はいくらか。

答 現在の体育館は昭和43年の建築で老朽化しているため、学識経験者・スポーツ団体・市職員等の人たちが構成されている検討委員会で検討しトップリーグの大会が開催できるような体育館を目指して進めていました。しかし、基準が厳しく建設費も高騰し、当初の予算は約30億円でしたが、6月定例会で予算が約39億6000万円の見込みになることにより、見直しの検討をしていきます。
▼浸水対策について
問 般若川等の浸水対策はどうなっているのか。浸水災害時に防災安全課に連絡が取りづらく困惑している。般若川・青木川等の豪雨時の調節池・青木川放水路への流入はどのようになっているのか。また古知野高校のグラウンドに雨水貯留施設ができると聞いているが完成はいつか。

答 豪雨時には、飛高町の調節池と分水池から一定の水位になると、青木川放水路に流入し、木曾川へ放流することになっていますが、木曾川が氾濫してはいけないので、木曾川の流量を監視しながら適切に木曾川に放流することになります。
 古知野高校グラウンドの貯留施設については、調整中という段階です。実現に向けて努力していきます。

きな構造変化の中で、安心して子育てができる子育て支援制度の充実や必要な時に医療や介護が受けられる制度の確立が必要です。
介護予防で介護サービスに頼らなくても、元気に日常生活を送れるよう、また、子ども医療費助成の拡充や放課後の子ども居場所の充実の取り組み、および、関心度の高い図書館についての現状を紹介し、市民の方のご意見・ご要望をお聞きしました。今後の議会活動に生かしていきます。

テーマ 介護予防について
 高齢化社会を迎え介護施設では対応できなくなりつつあります。国も施設の整備から在宅介護を重視する政策に方針転換しています。それには介護予防が重要であり、市では高齢者向けの教室・講座を、転倒防止・認知症予防等の内容で開催しています。

▼健康調査票・アドバイス票について
問 我が家は夫婦共に高齢者で、市からの郵便が2通送られてくる。1つにまとめれば郵送料を削減できるのでは。
答 制度・法的な問題の有無を確認した上で、改善ができるか市に伝えます。

▼職員が地域担当について
問 地域ごとに市の担当者を決め、取り組み状況等を比較して、良い結果の出ている地域の取り組みを他へ反映させることはできないか。

厚生文教委員会

人口減少・少子高齢化という時代の

答 市では現在そういった取り組みはしていません。行政の単位としては区が最小と考えますが、合理性・公平性、事業の緊急性、予算配分の優先順位など検討すべき点が多いと考えます。

▼地域包括支援センターと事業所等の関係について

問 地域包括支援センターは要支援の方達の介護ケアプランを作ったり相談に乗っている。センターでは、ケアプランの作成と事業所を紹介しているが、センターは市から委託されており、公共性があるのに、事業所等の選定に偏りがあるのではないか。

答 実態について改善すべき点があれば、市に対して要望を出していきます。

テーマ 子育て支援について

子ども医療費の助成は、平成27年4月から通院（3分の2助成）の対象が中学3年生まで拡大され、尾北医師会管内医療機関では中学3年生までの入院も同様に、助成分の医療費を窓口で立て替えることなく受診できるようになりました。また、市長は平成28年4月から通院分の全額助成を中学3年生まで拡大する方針を出しました。

学童保育は5小学校区で、平成27年度から小学4年生まで拡充し、未実施の校区では、今後も早期に実現できるように整備を進めていきます。

▼子ども医療費の助成拡大について

問 医療費を全額助成すると過剰な診療や投薬が心配される。市はどのような

なチェックを考えているのか。

答 医療費抑制のために一部負担を続けている市もありますが、県内の他市でも全額助成の方向で進んでいます。早期発見・早期治療により、市の医療費負担が抑制されたという事例もあります。

▼子どもの放課後の遊び場について

問 放課後の子どもの遊び場がない。公園でもボール遊びが禁止されている。子ども達が元気に遊んで、ストレスが発散できるような場を作してほしい。また、夏休み等の長期休暇中だけでも、学童保育や放課後子ども教室を増やしてほしい。

答 街中に子ども達の遊び場が無いことについては、議会でも認識しこれまでも整備について要望もしてきています。市の北部に公園が集中し、身近な所に公園がない現状です。子ども達が歩いていける距離に計画的に公園を増やしていくよう、今後も市へ要望を伝えていきます。学童保育等は、指導員が不足しているのが課題です。市は地域の元気な高齢者の方に指導員を担っていただけないかと、現在検討を進めています。

学童保育の小学校4年生までの拡充	
平成27年度実施	宮田小・藤里小・草井小・古知野北小
平成27年度整備予定(平成28年度受け入れ予定)	門弟山小・古知野西小(改修)
平成28年度整備予定(平成29年度受け入れ予定)	古知野東小
平成29年度以降整備予定	古知野南小・布袋小

テーマ 図書館について

昭和51年に建設された市立図書館は現在では狭く、平成7年から断続的に、新図書館建設についての検討が重ねられてきました。市議会においても平成26年度に図書館問題特別委員会を設置し、現図書館の運営方法や、新図書館建設に向けた検討課題について、市教育委員会と議論してきました。こうした状況の中、市教育委員会では合併浄化槽の工事に合わせて、バリアフリー化の改修工事を実施し、駐車場を拡張し、現図書館の環境改善に取り組んでいます。

▼新図書館の建設計画について

問 現代社会では情報が重要であり、お金に余裕のある人は情報を得て、そうでない人は得ることができない不公平があつてはいけません。検討委員会のような組織を、市民の声を反映させられる形で設置してほしい。また、取り崩した新図書館建設事業基金は早急に積戻しをし、停止している積立を再開してほしい。

近隣市町と比較しても今の図書館は見劣りする。市の顔となるのが図書館であり、市の中心に立派な文化施設として、一刻も早く整備してほしい。

答 議会でも度々新図書館の必要性を質してきましたが、現時点で建設計画は白紙です。市長は市内に、基本構想策定に向けたプロジェクトチームを設置していくとしています。また、約6億円となつている新図書館建設事業基金への積立再開は必要であり、市へ要望していきます。

アンケートを実施しました

今後の運営の参考とさせていただきます。ご来場の方々にアンケートをお願いいたしましたところ、88人の方にご協力をいただきました。

「意見交換会を何で知りましたか」の問いには「広報こうなん」が一番多く、次いで「議員・知人の紹介」「地区回覧」という結果でした。「開催日時」につきましては、9割以上が参加しやすかったとの回答でした。

このアンケートの結果を踏まえ、次回の意見交換会を開催します。詳細が決まりましたら、広報こうなんや市ホームページなどお知らせします。

なお、今回の意見交換会の内容は、市ホームページでも掲載していきますのでご覧ください。

次回は、来年1月に開催予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

